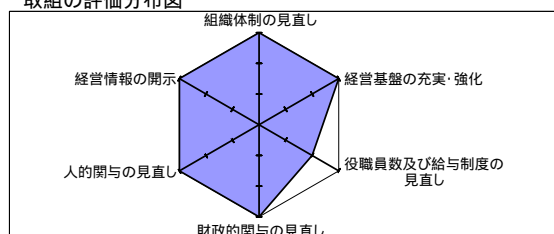


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	十分達成している
役職員数及び給与制度の見直し	ある程度達成している。
財政的関与の見直し	十分達成している
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	十分達成している

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: 十分達成している】

業務実態を踏まえた適正な組織体制となっているため、見直しの予定はない。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: 十分達成している】

18年度は、イベントの実施(249日)や広告枠の増設等、積極的な営業に取り組み増収となった。今後も健全な経営を行うために、魅力ある空港づくりに努め、空港利用の促進による売上高の増収と経費削減を実施する。

【18年度2次評価に対する対応】

19年度のイベント実施は249日を予定しており、引き続き空港から県内情報を発信する。借入金の金利上昇が見込まれるため、新生銀行からの借入金を7月31日に全額繰上償還(46,300千円)し、金利負担を低減する。

(3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: ある程度達成している。】

役員数、職員数については、現状を維持する。資格給の運用等が今後の検討課題である。

【18年度2次評価に対する対応】

職員の給与制度については、19年度から新賃金制度(本給+評価給)の導入を行った。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

引き続き、国際線ターミナルビルの収支については、利子補給措置なしで単年度黒字を達成していないため、利子補給を実施している。なお空港ビルにおいては、日本政策投資銀行からの借入金を繰上弁済(当期返済分を最初の約定日に一括返済する)を実施し、金利負担の低減に努めている。

【18年度2次評価に対する対応】

今後もターミナルビルの維持保全修繕工事等を実施するとともに、空港整備に伴うビル施設整備費用とするため、別途積立金への積み立てを予定しており、平成19年6月開催の株主総会において、繰越未処分利益のうち5億円を、別途積立金に計上した。

(2) 人的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

空港ビルは、公共性、公益性の高い基盤施設であるため、引き続き県関係者の関与が必要である。

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

平成15年3月期より当社のホームページにおいて決算公告(財務関係等の関係資料)を公開している。

【18年度2次評価に対する対応】

今後とも積極的に公表を行う方針である。

4 総合的評価

19年度のイベント実施は66日を予定しており、引き続き空港から県内情報を発信するとともに、収入確保に努めているほか、コスト節減を図るため、新生銀行からの借入金を全額繰上償還(46,300千円)や、日本政策投資銀行からの借入金の繰上弁済(当期返済分を最初の約定日に一括返済)するなどして、金利負担の軽減を行っている。

多額の内部留保(繰越未処分利益)について、その必要性を明確にするため、今後の空港整備に伴って必要となるビル施設の整備費用として、別途積立金への計上を行うなど、経営の適正化に努めている。